

平成29年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	一般事務及び施設管理業務
センター名	上村自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			紙の消費	×	×	×	×	×	—	
○			電気の消費	×	—	×	—	×	—	
○			水の消費	×	—	—	—	×	—	
○			施設の緑化	—	—	○	○	—	○	
		○	建物火災	×	×	—	—	—	—	
		○	灯油流出	×	—	—	×	—	×	
	○		フロンの漏えい	×	—	×	—	—	×	
	○		公用車の廃棄	×	×	—	—	×	×	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：—、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
廃棄物の保管	廃棄物保管の表示、分別の徹底、飛散・流出・浸透・悪臭防止の措置	○	○
消防法に関する施設管理	防火管理者の選任	○	○
消防法に関する施設管理	消防用設備の点検(1回/年)及び結果報告	—	○
消防法に関する施設管理	避難訓練計画の届出及び訓練の実施(1回/年)	○	—
浄化槽法	保守点検及び清掃(1回/年)・指定検査機関による水質検査(1回/年)	○	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化	第一種特定製品の適正管理と点検等の実施	—	—
灯油タンク等の管理	貯蔵、取り扱い、届出、自主点検の実施(南信州広域連合火災予防条例)	○	○
使用済み自動車の再資源化	リサイクル券の適正な保管及び廃棄時の適正な処理の実施	—	—
家電類の廃棄	家電リサイクル法に応じた廃棄時の適正な処置の実施	—	—

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：—で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	紙・電気等の消費、産業廃棄物の排出、汚水の流出、火災の発生、軽油の流出、フロン類の漏出
機会 (プラス要素)	グリーン商品の購入、施設の緑化

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	紙の消費量の抑制	両面印刷、裏紙利用の推進 と会議資料の簡略化による 紙の削減に努める。 半期ごとに検証する。	両面印刷、裏紙使用 が定着してきていま す。 引き続き紙の削減に 努める。	100%	使用する裏紙が不足 する程定着してきて いる。 引き続き努める。	###
	②	年間を通じて					
	③	対前年比3%減を目指す					
2	①	施設の緑化	庁舎周辺等花壇及びプラン ターを利用し緑化に努める。 夏季はグリーンカーテンを設 置する。	庁舎周辺花壇の緑化 を実施し、ミニトマト、 向日葵を植栽した。 西日の当たる窓はブラ インドを活用した。	100%	春のためにチュー リップの球根を植栽。	###
	②	年間を通じて					
	③	明るい環境づくりを目指す					
3	①						
	②						
	③						

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	小水力発電の推進	経営会議の開催(3回/月) 先進地視察(随時) 各種許可の申請に向けた関係機関等の協議 設計会社の選定 水車発電機の選定	経営会議 7回開催 先進地視察 2ヶ所 利水者及び流域住民 懇談会開催 許認可等事前協議の 実施	90%	経営会議 7回 取締役会 2回 詳細設計の発注 接続契約申込 許認可等に事前協議 の実施 市再エネ事業認定	###
	②	年間を通じて					
	③	許認可申請・詳細設計の発注 を目指す					
2	①	アマゴの稚魚放流	保育園児、小学生への環境 学習の一環として、上村川へ アマゴの稚魚放流を実施し、 河川環境の保全に努める。	11月実施	0%	アマゴ稚魚放流 11/22	###
	②	11月末までに					
	③	500匹放流する					
3	①	緑化木の植栽	遊休農地を利用した、花や花 木を植栽し、景観保全に努め る。 休耕田を利用しひまわり迷路 を作り自然環境学習を実施。 ひまわりの種は精油にする	休耕田にひまわり・大 豆を播種 遊休地にひまわりを 播種 ハナモモの苗木を地 区内に植栽	80%	ひまわりの種を地区 の文化祭で地区住民 に配布し地区全体で の取組みになるよう 呼びかけた	###
	②	11月末まで					
	③	遊休農地の					